

議 事 の 経 過

【開催日時】 令和元年8月2日（金）午後1時30分～午後3時30分

【場 所】 坂戸市役所303・304会議室

【出席者】 委員13名中12名 アドバイザー欠席

【傍聴人数】 0名

【議 事】

（1）坂戸市障害者計画等実施状況（平成30年度事業実績及び令和元年度事業計画）について

- 【配布資料】
- 1 坂戸市障害者計画・坂戸市障害福祉計画（第5期）・坂戸市障害児福祉計画（第1期）（平成30年度障害福祉サービス実績）
 - 2 令和元年度障害者計画等事業計画
 - 3 坂戸市における障害者数の推移

発言者	議題・発言内容・決定事項
会長	委嘱状の交付 1. 開会 2. あいさつ 3 会議の公開 ※傍聴者なし 4 協議事項 議題（1）坂戸市障害者計画等実施状況（平成30年度事業実績及び令和元年度事業計画）について
事務局	資料1～3に基づき説明
会長	資料内容について意見、質問をお願いします。
委員	資料1（7）③相談支援事業において、日ごろ相談に来られるのは、保護者と本人のどちらが多いのか。
事務局	相談支援事業において、家族と本人ともに対象としている。障害児に

	<p>については、保護者が相談に来られている。</p>
委員	<p>介護認定では、定期的に見直しが行われるが、障害者手帳の等級については見直しが行われるのか。</p>
事務局	<p>身体障害者手帳では、将来の軽度化が予想される場合を除き、期限はない。療育手帳については、18歳までは数年ごとに再判定が行われるが、18歳以降は原則再判定は行われぬ。精神障害者保健福祉手帳は、2年後ごとに診断書等による更新が必要である。なお、障害支援区分認定は3年以内の期間において再認定が必要となる。</p>
委員	<p>資料2 No.40 障害者就労支援センターで支援されている方の就労は継続しているのか。また、自立できる給料をもらっているのか。</p>
事務局	<p>同一年度中に退職される方もいるため、本人の状態にあった支援が必要であると考えている。給料の他に障害年金等による収入を得て自立に向けた支援を行うことが必要であると考えている。</p>
委員	<p>就労移行支援事業を実施しているが、障害者雇用において、正規職員は少なく、非正規雇用で、最低賃金で働かれている方が多い。また、本人の体調等の関係から、短時間の勤務も多い。</p>
委員	<p>昨年、行政機関で障害者雇用の水増し問題があったが、坂戸市では水増しが行われていたのか。</p>
事務局	<p>行われていない。障害者の採用試験を実施し、障害者雇用を進めている。</p>
委員	<p>資料2 No.59 発達段階に応じた支援で、発達障害において早期療育が必要だと考えるが、以前と比べて、保護者の発達障害に関する受入れはどうか。</p>
事務局	<p>ケースワークを実施しているうえでの感覚だが、以前よりも保護者の発達障害に関する受入れはよいように感じる。</p>
会長	<p>障害者団体連絡会において、公民館施設におけるバリアフリー化（エレベーター設置）について話ができたが、それについてはどうか。</p>
事務局	<p>エレベーター設置を含む公民館施設のバリアフリー化については、「坂戸市公共施設長寿命化計画」の策定において協議している。公民館施設の多くは昭和56年以前に建築されており、エレベーターを設</p>

	<p>置するには建物の強度や構造上の技術的課題、財政上の課題など難しい状況もあるが、バリアフリー化は重要な課題と認識し、改善に向け計画的に対応していきたい。</p> <p>なお、文化祭などにおいては、講堂や1階ロビーを中心に開催するなどソフト面で合理的配慮を提供できるよう、参加団体とともに考えてまいりたい。</p>
委員	<p>中央公民館について、1階のフロアを平坦にし、そこを1部屋として使えないか。さらに、入口をアコーディオンカーテンとすれば、車椅子の方でもスムーズに利用できると思う。</p>
委員	<p>中央公民館について、バリアフリーの問題が指摘されるが、建設当時、文部科学省の補助が難しいところ、なんとか防衛庁から補助を受けて学習等供用施設として建設した。さまざまな制約がある中、しっかり考えたうえで建設されたものである。</p>
会長	<p>バリアフリーのことは、経過も踏まえて考えていただければと思う。</p>
委員	<p>公民館の1階の会議室の予約において、障害者優先という運用ができればよいと考える。</p>
事務局	<p>御意見について、所管に伝える。</p>
会長	<p>川越公共職業安定所圏域の障害者の就労状況について、飯野委員から御説明願いたい。</p>
委員	<p>埼玉労働局のホームページに掲載している情報だが、平成30年6月1日時点において障害者雇用者数は、14,504.5人で前年比12.3%増、障害者雇用率は2.15%となっている。埼玉県障害者雇用率は、平成23年度に1.51%で全国47位だったところ、平成29年度には2.01%28位、平成30年度2.15%25位と上昇している。</p> <p>ハローワーク川越は、マッチングの業務だけでなく、就労定着にも取り組んでいるところである。</p>
会長	<p>最近高齢化が進み認知症となる方が多いが、認知症は、精神障害者保健福祉手帳の対象となるのか。</p>
事務局	<p>対象となる。</p>
委員	<p>心のバリアフリーを進めることも大切であると考えている。小中学生</p>

	<p>の福祉教育等で行うことはどうか。 資料2のNo.4 2 障害者就労支援施設等からの物品等の調達については、引き続き市において調整してもらえるとよい。 水害の訓練を実施しているが、避難命令や警報の出し方について検討が必要ではないか。</p>
事務局	<p>心のバリアフリーについては、障害者週間等で普及啓発に関する事業を実施している。重要であると認識しており、今後ほかにどのような手法があるか検討してまいりたい。 優先調達については、今後とも市役所の各課に依頼を障害者就労施設等からの物品の調達について依頼を行ってまいりたい。 水害時の警報等については、本年度から防災無線のデジタル化に向けた工事を進めている。</p>
委員	<p>資料1 (7) ⑨の地域活動支援センターが減少しているが、この背景と今後の見込について教えていただきたい。</p>
事務局	<p>減少した背景は、3箇所地域活動支援センターのうち1箇所が就労継続支援B型事業所に、平成30年3月に移行したためである。また、もう1箇所が平成31年3月に就労継続支援B型事業所に移行しており、現時点では1箇所のみとなっている。</p>
委員	<p>幼児教育においてマンパワーが重要だが、保育士や幼稚園教諭の離職は多く、支援を必要とする幼児への教育は難しい。その中、支援職員等を多く配置していただき、感謝している。</p>
事務局	<p>議題(2) その他について</p> <p>※平成30年度実績の総括について ※次回審議会について(令和2年2月頃を予定)</p> <p>閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>